

相手の立場に立ったコミュニケーションに必要なこと ＜主張と根拠の関係（論理構造）を組み直す手順＞

①イシューを特定する

相手の立場で再確認し、必要に応じて相手の立場に立ってイシューを見直す。

②枠組みを考える

相手の認識・関心・反応に答える論点を枠組みとして押さえる。

③組み直した枠組みに対して論理構造を考える

そのまま当てはめる、課題解決ステップで検討した仮説や根拠を活用する、新たに情報を集めるなどして、必要に応じて再構成する。

④メッセージを考える

より納得・共感を得やすいように、相手の感情にも配慮して表現する。抽象化しすぎず、具体的な言葉で表現する。

⑤全体をチェックする

相手の立場に立って考えられているか、ということをチェックする。